

令和4年度 学校自己評価書

小美玉市立堅倉小学校 校長 大関 律子

1 今年度の取り組みの概要

- わかる授業とICTの有効活用
- 健康・体力づくり
- 地域とともにある学校づくり
- 自主自立を育む特別活動の推進
- 児童とともに伸びる教員集団づくり

<達成度 A:十分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る>

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

組織目標 1	教職員の持ち味をいかし 児童一人一人の可能性を伸ばす		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
支持的学級風土を基盤にした授業の展開 「授業が楽しい児童」85%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自らがかかわり合い学び合う力の育成 ・児童が「もっと知りたい」といえる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、学び合いを積極的に取り入れ、互いの考えを交流することで、新たな気づきや発見のある授業を展開した。 ○ NIE教育の活用、SDG'sの視点を取り入れた学習、体験的な学習などを取り入れ、児童の主体的な学習活動の充実を図った。 ・授業はよくわかる(91%) 	A
ICTの「学び」への活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びの実現 ・思考力・表現力を高めるための活用の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットの様々な学習場面での活用を図った。自己の考えや調べたことをタブレット上にまとめたり、図示したりする自力解決の時間を確保し、交流では、自分の考えをわかりやすく伝えるツールとして活用を図った。 ・パソコンを使った授業は楽しい(82%) 	A
家庭学習の充実 「家庭学習A基準達成」80%	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の確実な定着を図る手立て ・児童の自主的な取組を促す指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎基本の定着に向けたパワーアップテスト合格率は全体では80%を超えた。5年生では算数において、定着が図れない単元が見られた。授業と家庭学習との接続や自主的な取組を促す働きかけが課題となった。 ・家庭学習A基準達成(60%) 	B
豊かな人間関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・報・連・相を基盤とした情報共有と組織的対応 ・いじめゼロのための児童の主体的取組の推進 ・悩みや不安に寄り添う教育相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に児童の情報共有を職員全体で行い、いじめやトラブルの早期発見、早期対応に努めた。また、担任の教育相談や毎月の学校生活アンケート、SCやSSWを活用した相談など、児童や保護者との関わりを密にして、児童の心に寄り添った対応を行った。 不登校児童3名は、毎日学校に登校し改善に向かっていく。 	A
自主・自立を育む特別活動の推進 「学校が楽しい」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動、縦割り班活動の計画的実施(ロング昼休みの活用) ・自己有用感や自尊感情を高める活動の工夫 ・児童が主役の学校行事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年生を中心とした縦割り班活動の実施や行事、係活動、委員会活動での一人一人の役割設定と児童主体の運営を行った。また、校内に向けて、高学年によるICTを活用した情報発信を活発に行うことができた。 ・学校生活は楽しい(85%) 	B
体育が好きになる指導の工夫 「体力テストA+B」60%	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさが味わえる体育科授業の充実 ・体育的行事や外遊びの推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育専門の教員をT2に配置し、授業の充実を図った。 ○ 計画的な行間運動を実施した。(持久走・なわとび) 	B

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育カードによる個別の目標を設定し、自己目標の実現に向けて取り組んだ。 ・体力テストA+B (56%) 	
<p>基本的な生活習慣の確立 「朝自分で起きる児童」60% 「約束を守る児童」70%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんの推進 ・メディアやインターネットの適切な活用の指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活振り返りカードを利用して、自己の目標設定をし、意識の向上を図った。 ・早寝、早起き、朝ごはん(83%) ・約束を守る児童(72%) 	A
<p>教職員の持ち味をいかした教育活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導力を高める校内研修の推進 ・働き方改革の推進と、児童に向き合う時間の確保 ・サービス違反0の実現とメンタルヘルスの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導案の共同立案や研究授業の相互参観を行い、職員全体で研修結果の共有を図った。 ○ 教員の職務内容の平均化と週時程表の改善、働き方推進委員会での提案を実現し、働きやすい職場環境の醸成に努めた。 	A
<p>地域とともにある学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや学校だより、メール配信による情報共有 ・コミュニティ・スクールによる教育活動の推進 ・幼保小連携、小中連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な情報発信に努めるとともに、紙での通知から、メールでの通知へと切り替えを図った。 ○ グランドデザインに沿って、地域と学校が連携した教育活動を展開した。学校運営協議会委員の本事業への理解が深まった。 ○ コロナ禍の中で、活動の中止もあったが連携を深めて、できる事業を推進した。小中連携では、来年度に向けて、具体的な実践への方向付けができた。 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 校内研修テーマ「児童の思考を可視化し、学びをつなぎ、深める学習指導」～ICT機器の効果的な活用場面の工夫を通して～にそって、算数科を中心とした研究授業を積み重ねることにより、ICTが効果的に活用できる場面を職員全体で共有して授業改善に取り組むことができた。また、NIE教育やSDG'sの視点を授業改善に取り入れることができた。研修をしていく中で、小学校段階では具体物操作などの体験的活動とICTの活用をミックスすることの有効性を再確認できた。ミックスにより、学び合いの深まりや表現力の向上が図れ、理解を深めていけると考える。今後は、デジタルポートフォリオにより、指導と評価の一体化を図り、評価を授業に活かす取組を進めていきたい。
- 特別活動において、スポーツフェスティバル、人権集会、各種委員会の発表など多くの場面で児童が主体となって企画・運営する取組が活発に行われた。堅倉TVに代表される取組を通して、情報を学校全体に発信することで、情報発信のきまりを守ろうとする児童やみんなの役に立ちたいと考える児童の割合が増加した。
- コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組がスタートし、地域の人々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指し、様々な事業(学習支援・行事支援・環境安全支援)を実施した。9月に実施された、防災訓練では、地域コミュニティの方を中心に、消防署や社会福祉協議会、市役所、区長会、老人会、PTA、育成会、げんでん、国土交通省など多くの団体の協力を得て実施できた。また、事業の実施を通してグランドデザインの重要性についても理解が深まった。
- ▲ 家庭学習の習慣化が課題となっている。家庭学習に対する主体的な取組を促す指導や目標設定などが必要であると考える。また、児童の興味を高める様々なコンテンツの増加なども背景にあるのではないかと考える。

3 保護者や地域への皆様へ

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度より、小美玉市内全ての小・中・義務教育学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が導入されました。地域の人々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指し、様々な事業を実施して参りました。この地域を教育の場とした体験的な学びや地域社会、地域の人々との触れ合いにより、児童は地域の一員としての自覚の芽生え、体験を通じた学びの広がりや深まりなど、普段の学習では得られない貴重な経験をさせていただきました。

この取組を支援していただいた学校運営協議会委員様(地域のコミュニティに関わる方々)には、地域の教育力を活かし、地域の方々と学校をつなぐコーディネーターとしてご尽力いただきました。また、地域の様々な団体様やPTA、育成会など多くの保護者の皆様にご協力いただきました。地域や保護者の皆様の温かなご支援は、児童にとって夢と希望を抱き自らの明日を切り拓く大きな力となりました。皆様方の多大なるご支援に、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

来年度においても、堅倉小学校が子ども達の健やかなる成長を実現する学び舎となるよう努力していく所存です。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。